

## 成長実感！中3夏期強化合宿

毎年、文理学院では中3塾生全員参加の「夏期強化合宿」を行っています。その合宿に今年参加した生徒たちの中から、各地区を代表して合宿参加の感想や、後輩たちへの熱いメッセージを書いてもらいましたので、ご紹介したいと思います。

### 受験生たちの決意、熱い思いを胸に刻め！！

#### 唐瀬校（静岡市）加藤 優芽 さん ～改めて芽生えた熱い思い、そして気づき～

合宿では、いつもよりレベルの高い環境で授業を受けることができました。そんな合宿で最も高まったのがライバル意識でした。「上には上がいるんだ……」と実感し、「もっと頑張らなければ！」という気持ちになりました。その気持ちがうまく作用したのか、私は合宿のテストで1位を取ることができました。とても嬉しかったです。しかし、それと同時に間違えた問題の中には、「わかっていたのに……」と悔しさの残るものもありました。短時間でも正確に問題を解ききる力が今の自分には必要なのだと感じました。合宿で感じたこのような気持ちは、学校や通常の授業の中ではなかなか味わうことのできない、貴重なものです。ですから、この合宿での経験を忘れることなく、これからも合宿で育てた「熱い気持ち」を心の中に持ち続け、一生懸命、勉強に取り組んでいきたいと思っています。

#### 下吉田校（富士吉田市）羽田 礼人 さん ～刺激、成長、そして感謝～

来年とはいっても、高校入試はあと半年ほどで訪れます。合宿に参加して、同じレベルのライバルがこんなにいるのだと知り、今は前にもまして勉強を頑張っています。3日間の合宿はあっという間でしたが、私にとって貴重な時間であり、大きな刺激となりました。特に苦手だった国語は「指示語」を中心に勉強したので、文章の把握がスムーズにできるようになったと思います。ほかの3教科も難しい問題がありましたが、合宿前に比べ、論理立てて考えることができ、ひらめくことが多くなりました。今、私の前には高校入試の壁が立ちはだかっています。その壁を越えることは大切ですが、私はさらにその上を越えていきたいと思っています。夏期合宿で私は大きく成長したと実感しています。山田先生をはじめとした文理の先生方、本当にありがとうございました。より一層、受験に向け励んでいきたいと思っています。

#### 甲府南西校（甲府市）平川 こころ さん ～焦り、悔しさ、そこからの決意～

周りの人の真剣な姿を見たとき、年号を暗記している人がいたとき、自分が解けなかった問題をスラスラ解けている人がいたとき、仲間との差を感じて、とても悔しく、そして焦りました。今までの自分は生ぬるかったんだと実感しました。夏期合宿は、他校舎の仲間と一緒に授業を受けました。これは私にとって、とても良い刺激になりました。学習面はもちろん精神面も鍛えられたと思います。だから私は、合宿を通して勉強に対する姿勢が変わりました。何事にも真剣に取り組むようになり、そして何より、受験生としての意識が高まりました。合宿から学べたことはとても多く、参加して良かったと心から思います。合宿で感じた悔しさをバネに、今まで以上に勉強を頑張りたいです。そして、第一志望合格という夢を夢で終わらせないようにします。

#### 長泉校（長泉町）井出 亜由夢 さん ～習慣化・・・それが勝利への道～

文理の合宿には、本当に行きたくなかったです。その理由は合宿の日程が高校見学の日程と重なっていたからで、どうしたらいいか悩みましたが、文理の先生が「絶対に行った方がいいよ」と言うので、その言葉を信じて行くことにしました。合宿を終えた今の感想は、もう「最高」の一言です。自分の苦手な分野も、授業と夜の復習タイムで克服できたし、同じくらいのレベルの子が頑張っていることを知れました。これから、どういう勉強をしていけばいいのかもわかりましたし、勉強は「慣れ」だと気づきました。校舎に戻ったら、塾が開いてる日に自習室を利用し、勉強を頑張っていきたいです。

#### 田子浦校（富士市）深澤 佑月 さん ～周りのライバルに刺激を受けて～

僕たちは、8月12日から14日まで合宿に行きました。合宿に行く前に一番思っていたことは、大変そうだということです。今までは、1日に10時間も勉強したことがなく、不安でした。しかし、授業を受けてみると、大変ではありましたが、普段とは違う先生の教え方がおもしろかったり、色々な解き方のコツが分かったりして、楽しかったです。SSクラスには前期の英語のSSにいた人が多く、見たことのある人が多くいたのであまり緊張はしませんでした。授業を受けているときのみんなはとても集中していて、僕も必死についていきました。周りにはライバルがたくさんいることを実感しました。合宿で得た様々な経験を活かし、これからも勉強に励んでいきます。

#### 富士宮西校（富士宮市）梶原 源起 さん ～井の中の蛙・・・その気づきが成長へ！～

僕がこの3日間で最も成長を実感できた教科は「数学」です。合宿に行く前、僕は数学に自信がありましたが、1日目・2日目の授業では解けない問題がほとんどで、説明を聞いても理解できない問題もありました。そんな中、同じSSクラスの他の人は簡単に問題を解いていて、自分が今まで井の中の蛙であったことを思い知りました。それでも投げ出さずに夜の自習の時に質問することで、わからない問題をなくすことができました。その努力が実ったのか、3日目の数学のテストではよい点数をとることができました。しかし、残念ながらトップの子には及びませんでした。ただ、それはあと少し努力すれば届く位置だと実感でき、勉強へのモチベーションが高まりました。これからは1コマ1コマの授業を大切に、常に全力で取り組みたいと思っています。

日常を超えた経験が、自己を逞しく成長させる。

# 合宿のアンケートを読んで、改めて「成長」について考える。

子どもでも大人でも、色々な条件が重なって「成長」するのだなあと、中3夏期強化合宿への参加アンケートを読ませていただきながら、改めて感じる事が多々ありました。その中で絞って書いてみます。

## ①環境、②周囲の人間、③気づき、④素直さ・謙虚さ、⑤受け入れる力

以上5点のいくつかが重なることで、大きな成長に繋がっていくように感じます。①、②について言うと、文理には良きライバルと競い合える環境があり、そして手前味噌ではありますが熱心な教師陣も文理にはたくさんおられますので保護者の皆様、ご安心くださいね。

大人でもなかなか難しいのは③、④、⑤かもしれません。

まず、③「気づき」です。日々、色々な経験をする中で、「なぜ、そうなるのだろう」、「もしかしたら、これが原因ではないか」などと気づく人は、何かしらの疑問を持ちながら生活していると同時に、感受性の豊かな人です。

次に、④「素直さ・謙虚さ」ですが、根底に「自分が正しいと思いきまない姿勢」と「周囲に生かされているという気持ち」があれば、そのようになるものです。人間は、弱いがための自己防衛が傲慢さに繋がってしまう場合があります。これは大人でもちらほら見受けられますが、やはり「素直さ・謙虚さ」は成長のための大切な要素の1つであると感じます。

最後の⑤「受け入れる力」とは、良い時も悪い時も、現状を受け入れる心の深さです。人は知らず知らずに「種」を蒔いて生活しています。その種は「良い種」である場合もありますが、良くない言葉使いや態度などで「悪い種」になっている場合もあります。蒔いた種は、実をつけ花となり、自分自身に返ってくるわけです。自分の身に降りかかる全てのことは、自分自身が蒔いた種が原因であると考え、全てを受け入れて前へ進むことが「大きな成長」へと繋がっていきます。

# 合宿で沢山のことに気づいた受験生。あと半年、駆け上がれ！

## ホームページが変わります！

すでにホームページのリクルートサイトは新しく生まれ変わっていますので、一度覗いてみてくださいね！若手の実力教師陣の「人となりと仕事への情熱」が伝わる、良い内容に仕上がっていると思いますよ。

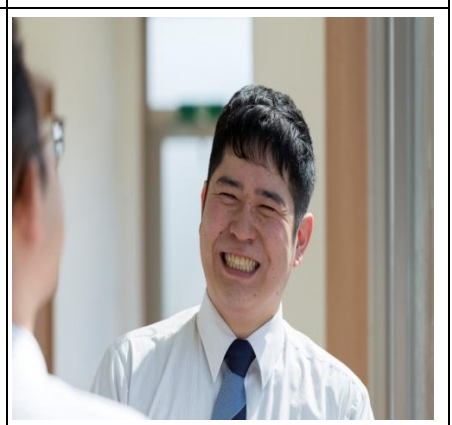
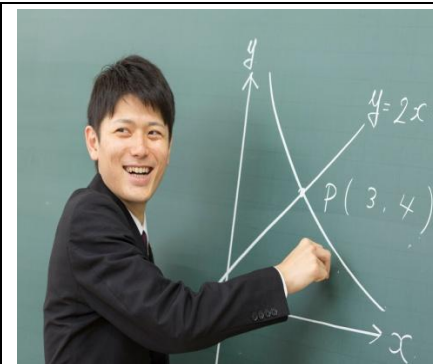
9月末には「生徒募集サイト」もリニューアルされ、写真や文章の刷新とともに、スマートフォンでの閲覧がしやすくなります。ぜひ、ご覧くださいね！

文理学院ホームページ <http://www.bunrigakuin.com>

また、「校舎ブログ」もご好評いただいております。お子様を通う校舎だけではなく、他地区の校舎のブログもご覧いただきたいと思います。ちなみに更新が多い校舎は読んでいて楽しく、刺激になる内容が多いですよ！

「2018.6月～8月21日更新ランキング上位校」を発表しておきましょう！

	6月	7月	8月(～8/21)
1位	中原校	田子浦校	中原校
2位	長田校	中原校	田子浦校
3位	富士宮西校	御殿場高等部	広見校
4位	田子浦校	長田校	中島校
5位	御殿場高等部	富士宮西校	唐瀬校



## ブログも元気に更新中です！

## 9月入塾 受付中です！

今年も夏期講習受講生から、本当にたくさんの生徒さんたちが入塾してきました。私たちは、そのような文理学院を選んでくれた生徒・保護者の皆様の期待に応えるべく、塾生たちの心の教育、学力向上、進路指導を誠心誠意行っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

9月からの入塾受付はまだ行っておりますので、お知り合いの方で文理学院をご検討の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただきたいと思います。「とことん徹底指導で、塾生の未来の扉を開きます！！」

とことん徹底指導！  
とことん学力向上！  
とことん人間教育！  
とことん安心価格！

**9月入塾  
入学金無料**

### 文理だより編集後記

今夏は特に前半は「酷暑」となり、非常に過ごしにくい日々が続きましたね。そんな中、台風などによる災害で大変痛ましい出来事も数多くありましたが、その一方で、多くの人々の感動を呼ぶ出来事もいくつかありました。私が特に印象深かったのは「甲子園での金足農業高校の大躍進」と「78歳 尾島春夫さんのボランティア精神」でした。どこか共通点があるような……と考えてみると、それは「諦めない心」と「助け合いの精神」でした。子どもの頃には当たり前に行ってきたこと、感じたことを、だんだん捨て去りながら大人になるのか？それは、あまりにも寂しいものですね。やはり、夢や目標を持ち、諦めずに日々の努力を重ねていくことが大切です。同時に人は支え合い、助け合いながら「生かされている」のだということ、この2つの出来事から改めて学ぶことができたと感じています。

文理学院の塾生諸君にも、学業と通塾を通してこのような精神を学び取ってほしいなあと、しみじみ感じる8月下旬の深夜であります。【勤】

# 想像力と行動力、それが成功の鍵だ。